

関連項目：教育活動プラン⑥

児童が主体的に生活をつくる児童会活動

目的

本校は、「自ら学び なかまと共に 生き生きと活動する子どもの育成」を教育目標としています。これを受けて、児童が自分たちの生活を振り返り、主体的に提案、行動する児童会活動を推進することによって児童自身でよりよい集団を作ろうとする意識を高めようとしています。

内容

● 学校生活の中から課題を発見

本校では、児童の生活のきまりを全教職員で見直しました。そして、全校で共通に取り組む重点指導事項を検討し、生徒指導部会を中心に具体的な指導基準を作成しました。廊下歩行も、その中の一つとして全教職員が共同歩調で指導に当たりました。その結果、一定の効果をあげることができました。

しかし、本校には広くて長い廊下があり、休み時間などにはつい走ってしまう児童が後を絶ちませんでした。学校全体が落ち着いた雰囲気になるまで、ぶつかってけがをしたりしている状態をなんとかしなければと、生活応援委員会で話し合われました。

宇多津っ子をめざそう!! どこまでできているかな?

	レベル1	レベル2	レベル3	最高レベル4
あいさつ	・相手に聞こえる声で、あいさつを返すことができる。	・仲よしの友達に、自分から目を見てあいさつができる。	・校内で会った人(他の学年、先生)に、自分から目を見てあいさつができる。	・だれにでも(地域の人など)自分から目を見てあいさつができる。 ・あいさつ運動に連なって参加してあいさつができる。
ろう下を歩く	・集会に行く時は、なんでも右側を静かに歩くことができる。	・教室移動の時は、なんでも右側を静かに歩くことができる。	・休み時間やトイレに行く時なども、右側を静かに歩くことができる。	・校内では、いつも右側を静かに歩くことができる。 ・ろう下を走っている人にも、あいさつ運動に連なって参加してあいさつをかけることができる。
時間を守る	・チャイムの合図で席に集んだり、そうじ場所に行ったりできる。	・自分の席やそうじ場所チャイムを聞くことができる。	・〇分前行動を心がけて準備を整え、チャイムの合図でも授業やそうじを始めることができる。	・〇分前行動を心がけて準備を整え、チャイムの合図でも授業やそうじを始めることができる。 ・時間を守るように友達に声をかけて行動することができる。
献目清掃	・自分の分担の仕事ができる。	・だまって自分の分担の仕事ができる。	・だまって自分の分担の仕事ができる。 ・分組場所の中でできていない場所を見つけて、きれいにすることができる。	・だまって自分の分担の仕事ができる。 ・校内よごれている場所を見つけて、工夫してきれいにすることができる。
くつづの置とん	・自分のくつは上でつ、下でつに気をつけて、くつ箱に入れることができる。	・自分のくつは上でつ、下でつに気をつけて、いつもきちんとそろえることができる。	・自分のくつやトイレのスリッパは、いつも気をつけてきちんとそろえることができる。	・自分のくつやトイレのスリッパは、いつも気をつけてきちんとそろえることができる。 ・そろっていないのに気づいたら、進んできちんとそろえることができる。

教職員が作成した『指導基準のレベル表』

● 改善方法を考えて、「ストップ・ザ100運動」を実践

生活応援委員会からの提案として、全校集会で呼びかけました。また、昼休みに校内安全パトロールを行い、廊下歩行ができている児童を見つけて放送で紹介する活動を続けました。

さらに、アイデアを出し合い、廊下を歩こうとする意識を高めるために、『安全歩行証』を配布するようにしました。



「右側を歩いてね。」



「いい歩き方だね。名前は？」

成果

こうした取り組みをすることで、模範となるような廊下歩行をする児童が増えました。また、廊下歩行をはじめ、「きまりを守ろう」と児童同士で声をかけ合う姿が見られるようになってきました。児童が主体的に考え、実践したことの成果だと考えています。